

第2回北広島市商工業振興審議会 議事要録

1 日時 平成28年2月15日(月) 18時00分から19時55分

2 場所 北広島市役所本庁舎2階会議室

3 出席状況

| No. | 氏名 | 職業等 | 出欠 |
|-----|-------------|--------------|----|
| 1 | (副会長) 藤山 康雄 | 北広島商工会会長 | 出 |
| 2 | 山田 久俊 | 北広島商工会副会長 | 出 |
| 3 | 丹野 司 | 北広島市工業振興会会長 | 欠 |
| 4 | (会長) 河西 邦人 | 札幌学院大学経営学部教授 | 出 |
| 5 | 長島 博子 | 北広島消費者協会会長 | 出 |
| 6 | 千葉 裕美 | 市民(主婦) | 出 |

北広島市商工業振興審議会事務局

| 所属 | 役職 | 氏名 |
|----------|----|-------|
| 経済部 | 部長 | 藤木 幹久 |
| 経済部 | 次長 | 斎藤 秀樹 |
| 経済部工業振興課 | 課長 | 佐々木 伸 |
| 経済部商業労働課 | 課長 | 吉田 智樹 |
| 経済部工業振興課 | 主査 | 笹原 拓己 |
| 経済部商業労働課 | 主査 | 宮本 大介 |
| 経済部商業労働課 | 主査 | 山田 基 |

傍聴者

| 人数 |
|----|
| 0人 |

4 議事録

1. 開会

・事務局

6名の委員の内5名の方が出席。委員の過半数を超えており審議会成立を報告。

2. 議事録署名委員選出

会長により山田委員を指名。

3. 議事

以降は会長による議事進行となる。

(1) 議案 1 商工業振興基本計画の検証について

- ・事務局

資料に基づき事務局から説明。

- ・委員からの意見、質疑 ※委員からの意見質疑⇒○ 事務局回答●

基本目標 1 「活気ある商工業の展開」

基本施策 1 「商工業の経営基盤の強化」

1 「商業の経営基盤の強化」

○今後の事業に商工業懇話会の実施とあるが、消費者の立場では参加できないのか。未実施なので是非実施を考えて欲しい。

●実施する場合には参加していただける形で考えたいと思います。

○今まで懇話会が未実施だった理由は。

●なかなか共通の話題で商工業者が一堂に会する機会を見出せませんでした。

○この審議会がなぜ開かれてこなかったのか。基本計画を検討し、市長に答申した後開催されていない。PDCAサイクルから言えば、実行した結果に関して、審議会である種検証していく必要があったのではないかと思う。今後1年に1回はこの審議会を開催して、基本計画の後期は1年ごとに検証しながら、議論をしたほうが、次の基本計画を作るときスムーズに行くように思う。

●開催できなかったのは反省すべき点です。今後の開催については事務局も同様に考えておりますので準備を進めてまいります。

○空き店舗利用促進事業はすばらしいと思う。北広島の中で商工業が活発になれば、住人も増えるし、まちも活気づくと思う。一方で、団地内ではマーケットだったところが常にシャッターが閉められていてひっそりとしているし、周辺の人もどこに買い物に行っているかわからない。買い物難民に繋がるかも知れない。空き店舗の事業は大

曲とか人が出入りするようなところに偏ってはいないか。シャッター街のようになっているところを市はどのように考えているのか。具体的な計画はあるのか。空き店舗の助成に関しては商工会を通してだけなのか。今後、どのように助成を展開して行く考えなのか。

●大きく問題点が3点あると考えています。団地全体の問題として団地をどうしていくのかという問題、空き店舗のある場所の問題、消費する側の問題があるのではないかと思います。行政としても手を差し伸べる部分には限界もあると考えております。また今回、団地内の小売店舗が閉店されるという事もありますので、団地内に限った事ではありませんが、買い物の環境が整わないと言った部分に関しては緊急課題と捉えています。

○空き店舗利用促進事業は平成20年度から26年度までの実績が26店舗と言う事だが、実際に残っているのは何店か。業種は。

●12店舗が残っておりまして、平成27年度に新規で6店舗出てきていますので、18店舗ということになります。飲食店が8店舗と比較的多くなっています。

○北広島では商店街のような商店の集中した商業地域がない。密集していないので活気が感じられないのではないかと。このまま閉店して行く店が増えると、買い物難民が将来的に発生することになる。

○高齢者が多、日常生活品や食品を売る店がない地域にそのような店舗が入ってきた時、手厚く支援する等、戦略的に補助を出していくと言うのも一つの方法でないか。

○空き店舗利用促進事業において商工会は経営指導等も実施し何とか成功するように尽力しているが、それでもなかなか厳しいのが現状。北広島では専門店が長続きしない。開店しても早ければ何ヶ月、頑張っても1年か2年で廃業してしまう。やはり札幌に近いという地域の特異性もあるのかもしれない。

○北広島では大型店でほとんど用が足りてしまう。個人販売はなかなか成り立っていない。

○北広島のまちづくりは、商店街形成をしなかったまちづくりかなと言う気がする。団地造成して、商業地域を決めても制約が何もなかった。基本的に商店街を成すためのスペースをとって、店が出来たとしても、隣に民家が2軒建ってしまうと商店街形成にならない。地区が4つに分かれていると言うのも原因かもしれない。

○中小企業等融資事業は年間10億円の貸出枠があり、これが年々超えるような勢いになっているとの事だが、この先事業を継続するにあたって融資枠をもう少し広げて行くとか言う考えがあってもいいのでは。

○住宅リフォーム支援事業について、市内業者に限定したのは意味があると思う。札幌や恵庭の業者が、施工後は、後は知りませんよと言う業者が結構多かった。それを解決しようと言う部分もあると思う。地元への経済効果で言えば非常に大きい。3年目が終わる段階では再度、評価をし直して継続していくのか、どうするのかと言う事

は検証するべきだ。

○空き家問題と言うのがクローズアップされていて、街の形成上、治安やゴミ等の問題がでてくる。空き家が何らかの形でリフォームされて新しい方々、特に若い人達に安く貸し出して、そこに定着してもらえれば消費や何かが生まれてくる。そう言うようなところに着眼して支援をしていったらどうか。人が減少していけば、空き家も出てくる。そこに対してリフォームをする。それを支援すると言うのであれば、ある種今の社会の流れと言うか社会課題に合った支援の仕方かなと思う。そう言った事も検討して欲しい。空き家をリフォームして、新しい人が入ってくれると言うのが大切だと思う。そこまで完結したら支援するというのはどうか。

2 「工業の経営基盤の強化」

○企業の人材育成と言う部分で、今、女性が社会に出て活躍していくというのが政府の施策の一つとして挙げられているが、女性はものづくりの現場というよりサービス業や小売業等で働く機会が多い。その部分での人材育成などがあってもいいのではないか。工業だけではなく商業、サービス業や小売業も含めての人材育成に拡充すると言うのも検討するべきでは。

○個人のスキルアップのための資格取得への助成を検討してはどうか。

3 「観光の強化」

○観光の振興について、駅前にキャラクターの人形やクラーク博士の看板が設置されているが、観光で「旧島松駅低通所」を説明するものを設置してはどうか。まちの宝として交通アクセスや立地条件のよさもあるが、国の指定史跡や特別天然記念物の野幌原始林もまちの宝であるから総合的に駅前に表示してPRしては。

○シティセールス事業について、商業労働課の事業としてはなくなり、企画課の事業として実施されているとのこと。以前、聞いたときは「きたひろ農学校」と言う大きな枠組みの中で、北広島で実施する色々な事業で北広島市の良さをPRしていく。これがシティセールスと言う形に変化したと聞いた。きたひろ農学校は今無いか。

●農学校につきましては無くなったわけではありません。観光サイトでは残っております。冷凍食品の「きたひろ農学校」シリーズも大型アウトレットや体験型農業施設でも取り扱っていただいています。ブランドと言う事でPRしていくという事で続けております。

○札幌広域観光圏推進協議会の活動はどうなっているのか。そういった内容は観光協会の中では殆ど報告されないが、協会にも報告し、会員がこれは市の職員だけに任せではダメだ、一般市民も参加すべきと言う雰囲気をつくるのも今後必要ではないか。

●毎年大通公園で実施される札幌オータムフェスト、札幌雪まつりの時に地下歩行空間の雪めぐり回廊等のイベント時にPRさせていただくというような事で関わっております。旅行情報誌で観光の特集を組んでPRを行ったりと言うような事をしております。

○観光は行政だけではなくて、市民が全体で盛り上げていかなければいい観光にならない。協働でやって行くということを強調したい。

○今まで北広島市民を対象としたイベントが多かった。交流人口を増やすと言うのは北広島に来ていただいて、良い所を見て、最終的に住んでいただければいいと言う事だと思う。「北の酒まつり in きたひろしま」は来場者の60%が市外。北広島に足を運んでいただく事に意味があり、そこで少しでもお金を使っていただく事で、地元の商店や飲食店の売上げ増に繋がる。そういった対外的なイベントを今後進めていくべきではないか。

○イベントに関する予算と言うのはどうなっているのか。

●大きなイベントを誘致するという事に関しましては若干の予算がありますので、誘致に向けて働きかけをして行きます。イベントの開催に関しましては観光協会に予算を付け、観光協会の中で実施しています。

○アウトレット施設にあれだけの観光客やインバウンドが来ても、買い物が終われば帰ってしまう。それを北広島の市街地に回すと言うのは必要だと思う。自転車の貸し出しでも行って自転車道でサイクリングを楽しんで帰っていただくとか、何かそういうもの考えていたら良いのでは。

○北広島市の場合はホテルが中心市街地から離れたところにあるから難しいかもしれないが、札幌ではホテルの近くの商店街が、多言語マップを用意して、泊まった方が日本の商店街の中で居酒屋やカラオケに行き楽しむ。そういった方にサービスをしてインバウンド需要を取り込もうとしている。それは立地的な問題があるので、難しいかもしれないが、そういったことも少し出来ると面白いかもしれない。今の観光客の方も物見遊山の観光から買い物の観光、それだけではなくて日本の日常生活を味わってみたいと言うような人も増えている

○自転車の観光に関しては、台湾が世界的に見ても自転車大国。そういった方々がわりあい個人で自転車のツーリングをするためにわざわざ北海道に来ている。もし自転車を北広島の観光資源として使うのであれば、北広島を起点にして色々北海道内各地にツーリングしてもらうような何かを考えてみると良いのではないか。

○この計画とは別に「観光基本計画」もある。細かいところではやり方があるかもしれないが、基本の方針はこのままで良いのではないか。観光基本計画に任せるべき。

基本施策2「企業誘致の推進」

1「企業誘致の推進」

○大手菓子製造会社の工場は、完成したら見学は可能か。

●今の段階では、工場最優先との事ですが、担当者との話の中で、観光の側面から、大型アウトレットだけでなく北広島の市街にも観光客を呼びたいと言う事で工場見学そういったものも後々はお願いしたいと言う投げかけはしています。

○有名な企業が来るのであれば、進出する企業に市民に親んでもらえるようなイベント等を開催してもらい、市民が愛着を持つようにしていけば、盛り上がって集客できるようになるのではないか。

○大企業に対しても、進出してきたら商工業振興基本条例で商工会に入る努力義務が規程されているが必須義務にしてはどうか。確かに大きい企業はそれなりに自分で出来る機能を持った会社なので、入ってもメリットがない。地元としてはメリットではなくて商工会に入って地域の為に手を貸していただきたい。大きい会社では地域貢献的要素が入っていると思う。何かそう言う形で地元のまちづくりに寄与するんだと言う意味合いで商工会に加入するよう要請してはどうか。

○「活力あるまちづくりに貢献する企業の誘致や進出時の支援の拡充及び強化」とありどちらかと言うと大きな企業の話が中心かもしれないが、自ら創業して、そう言う方々が北広島のこれからの産業を担っていく、そう言うような創業支援にもう少し拡充してもいいのではないか。移住定住策で成功している市町村は、外から入ってきた人達も起業してそこで自分の生計を立てるようなビジネスが行われ、結果として定着してくれる。そういった構造を持った移住定住が成功している。そういった創業支援に関しては市はどう考えているか。

●創業に関しては、北広島の特性として空港と札幌の中間点で交通アクセスが非常に良い場所です。アクセスの良さと言うのは大企業だけではなく小ビジネスでも十分メリットがあると思っています。創業のチャンスとして28年度から何らかの企業の支援をやって行きたいと考えております。

○工業団地はある程度大きな企業を想定した区割りで、販売先もだいたいそうだと思うが、大きい区画の中で小さい区画を作ってそこを小さく割って地元の企業も入っていけるような形も必要ではないか。100坪でも200坪でも工業団地の中で創業できる仕組みがあれば良いのではないか。例えば1000坪の土地を10区画に割って100坪位の土地にする事も今後考えてはどうか。

○工業を支えていく人材について、企業を誘致してきた時に地元から採用したいけれども人がいないと言う様なケースもあると思うが、市やハローワークがマッチングをするような仕組みはあるか。その他、地元の高校生とかを北広島に進出した企業に紹

介して優先的に採用してもらおう仕組みなどは。地元で育った子供たちが、地元の企業に勤めてそこで頑張る北広島で暮らしていける。そういう事が結果として人口の下支えになるので、是非とも若年層が地元の企業に採用されるというところでの支援、協力をすると良いのではないか。

●北海道の経済部産業振興課がメインとなって担当者が企業の人事担当者方と一緒にハローワークに出向いたり、高専高校の人事課まで一緒に行き連携して動いていただいています。市も出来る限り情報提供をして市民が採用されるよう努力しています。

4. その他（次回開催について など）

次回開催は3月23日水曜日、18時00分として決定する。

5. 閉会

（終了）19時55分

議事録署名委員
